

は・か・せ・どん通信

No.03

「はやくて」「かんたんで」「せいかくで」「どんな時も」使える方法は？

平成 29 年 5 月 19 日（金）
多摩市立豊ヶ丘小学校
校長 山川 毅
算数習熟度別指導担当 伊藤正剛

基礎・基本の確実な定着をめざしてー ～「東京ベーシック・ドリル」を活用しています！～

豊ヶ丘小学校では、基礎・基本の確実な定着を目指して、東京都教育委員会が作成した「東京ベーシック・ドリル」を活用しています。東京都及び本校では、全児童が卒業までに 4 年生の診断シートを満点にすることを目標としています。

本校では独自に活用計画を定め、3 月・4 月・7 月・12 月の 4 回「診断シート」を実施し、学習内容の定着状況を確認し、習熟度別指導のコース決定の資料、学年やコースの傾向に応じた授業計画の作成、個に応じた補充学習の実施、「地域みらい塾」などに活用しています。

本校の東京ベーシック・ドリル診断シート実施計画

在籍学年	1 年	2 年				3 年			
実施月	3 月	4 月	7 月	12 月	3 月	4 月	7 月	12 月	3 月
実施する 診断シート	1 年 A	1 年 B	1 年 C	1 年 A	2 年 A	2 年 B	2 年 C	2 年 A	3 年 A
本校の 目標	平均正答率向上 → 1 年生の診断シートクリア				平均正答率向上 → 2 年生の診断シートクリア				

4 年				5 年				6 年			
4 月	7 月	12 月	3 月	4 月	7 月	12 月	3 月	4 月	7 月	12 月	3 月
3 年 B	3 年 C	3 年 A	4 年 A	4 年 B	4 年 C	4 年 A	4 年 A	4 年 A	4 年 B	4 年 C	4 年 A
平均正答率向上 → 3 年生の診断シートクリア				平均正答率向上 → 全員が 4 年生の診断シートクリア							

「苦手」の克服は今のうちに！

算数の学習は「積み上げ型」です。すでに学習した知識や技能をもとに考えて問題解決に取り組み、新たな知識・技能を獲得していきます。苦手分野の克服に、早めに取り組むことが大切です。今回の正答率が 60%未満だった児童には、間違えた問題に対応した練習シートを配布しています(まとめて配布する、少しずつ配布するなど配布方法は学年により異なります)。家庭学習・「地域みらい塾」などで取り組み、7 月の診断シートでは正答率を向上させましょう。

問題・解答は東京都教育委員会ホームページで公開されていますので、ご活用ください。
URL : http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/manabiouen/basic_drill.html
(または「東京ベーシック・ドリル」で検索)

診断シートの実施結果から見る「苦手」

～苦手を克服するには～

○ 平成28年度入学生（現2年生） ○

1年B	問題番号	正答率
正答率の低かった問題	1 … 整数の表し方	29.6%
	5 … しきにあらわそう	66.7%

1 … 小さい数のうちに数の構成の理解を確実に！

→ 整数のしくみの学習は4年生で完結します。比較的小さい数のうちに、繰り返し練習に取り組み、数の構成を理解することが大切です。特に「○と□で10」「10は○と□」など10の構成・分解はすべての基礎となります。

5 … 「何を問われているか」「何を答えるのか」の大切さを低学年のうちに！

→ 「どちらが何人多いでしょう。」と問われたら、「○○が□人多い」と答える必要がある、など問題文を正確に読み取る習慣を低学年のうちにつけることが大切です。

○ 平成27年度入学生（現3年生） ○

2年B	問題番号	正答率
正答率の低かった問題	7 … 量の単位	50.8%
	11 … 表やグラフ	62.7%

7 … 長さ・かさの単位は面積・体積の学習に直結！繰り返し取り組み理解を確実に！

→ 長さ(m)やかさ(L)の単位は、4年生、5年生で学習する面積や体積に大きく関係しています。繰り返し取り組み、高学年になる前に確実に定着させることが大切です。

「 $1\text{m}=100\text{cm}$ 」「 $1\text{L}=10\text{dL}=1000\text{mL}$ 」などの基本的な単位換算だけでなく、「 $209\text{cm}=2\text{m}9\text{cm}$ 」など0を含む場合に要注意です（ $20\text{m}9\text{cm}$ や $2\text{m}90\text{cm}$ などの誤答が起こりやすい）。日常生活で見かける飲料のパックの容量表記などを普段から意識することも大切です。

11 … 「統計」の学習の入り口！「数え落とさない」「数え間違えない」工夫を！

→ 2年生の表とグラフの学習は統計分野の学習の入り口です。3年生では1次元表と棒グラフ、4年生では折れ線グラフと2次元表、6年生では柱状グラフと資料の分析の学習があります。この分野の学習では、「データを正確に数えられること」が学習を進める前提となります。印をつけるなど、自分なりの方法で「数え落とし」「数え間違い」をなくせるようにすることが大切です。

○ 平成26年度入学生（現4年生） ○

3年B	問題番号	正答率
正答率の低かった問題	14 … 時刻や時間の単位	33.3%
	4 … 整数のかけ算	52.1%

14 … 普段から「時刻」「時間」を意識した生活を！

→ 時刻と時間の学習は3年生が最後です。「時刻」と「時間」の違いや正時を超えて「〇分前」「〇分後」の時刻を求める学習に取り組みます。10分刻みで考える、5分刻みで考えるなどの方法もありますが、「2時20分から40分前の時刻は？」なら「2時まで20分、そこからさらに20分前だから…」など、正時を境に考えることができるようになりますとよいでしょう。

普段の生活でも「今から〇分間〇〇をしよう。何時何分まで？」と問いかけるなど時間と時刻を意識させるとよいでしょう。アナログ時計の感覚も大切です。「長針が半周すると30分間」など針の動きと関連付けて時間や時刻を理解することにつながります。また、角度の学習や「時計回り」「反時計回り」「〇時の方向」など日常的に使われるフレーズの理解にもつながります。

4 … 整数のかけ算は誤りの原因を突き止めて！

→ 整数のかけ算には「しくみの理解」と「かけ算」、「たし算」の要素があります。診断シートで出題された「 619×72 」などかける数が2ケタ以上の場合、誤りの原因が「筆算のしくみ」なのか「かけ算(九九)」なのか、「たし算」なのかを確かめる必要があります。整数のかけ算は小数のかけ算の学習に直結します。繰り返し取り組み、正確に計算できるようにすることが大切です。

○ 平成25年度入学生（現5年生） ○

4年B	問題番号	正答率
正答率の 低かった問題	17 … 立方体・直方体・ものの位置	39.2%
	15 … 角の大きさ	51.0%

○ 平成24年度入学生（現6年生） ○

4年B	問題番号	正答率
正答率の 低かった問題	17 … 立方体・直方体・ものの位置	46.0%
	8 … 小数のかけ算	62.0%

17 … 立体図形の位置関係は難しい！構造の理解と感覚も大切に！

→ 立体図形の辺と辺の関係、面と面の関係、面と辺の関係の理解は、子どもたちにとって難しいようです。直方体や立方体の構造を理解することも大切ですが、図形感覚も大切です。低学年のうちから積み木に親しんだり、箱を使って工作したりするなど立体に触れる経験を豊かにすることが大切です。

15 … 図形の学習の基礎！対頂角・同位角などの性質の理解を確実に！

→ 角に関する知識・技能は、5年生の「合同な図形」「正多角形と角」、6年生の「対称な図形」「拡大図と縮図」の学習につながります。分度器の使い方、直角＝90度、半回転＝180度、1回転＝360度などに加えて対頂角や同位角などの性質をもとに、計算で角度を求められるようにすることが大切です。繰り返し取り組み「慣れる」ことも必要です。

4 … 小数のかけ算は誤りの原因を突き止めて！

→ 小数のかけ算は、乗法の性質を用いて整数のかけ算をもとに計算します。小数のかけ算のしかたの理解が不十分なのか、整数のかけ算の理解が不十分なのかを確かめてから計算練習に取り組むことが大切です。